



OLIVE ニュース 2020年11月号

月刊紙

12月の予定 5日 工賃支給 11日 避難訓練

コロナ客観論

遠藤節子

▼最近は一転三転するコロナ情報。しかし確実に感染者は増えている。そういうしている間にカレンダーも残すところあと一枚。コロナにはじまりコロナで終わる1年といっても過言ではない。今年の流行語大賞も「三密」だったが、その生活は今も継続。さらに出てきたのは七つの子ならぬ「五つの子」。東京はいろいろな口を生み出すのは良いが、一人一人の自粛に頼っていてもその一人が「こんなに人が多いとは思わなかった」コロナの渦中に入っていく。この現象はもう誰も止められない。

▼感染症一つで世界の経済、人の生活、機能、命が消えていく中、警鐘を鳴らす専門家はたくさんいるが、いまだ解決策を見ない。例えそれがワクチンで防げたとしても、次の感染症が蔓延したらどうなるのか。この現実から私たちは何を教訓として学ぶべきだろうか。ただ同じ轍を踏んではいけない。ひたひたと押し寄せる感染拡大の恐怖、赤く灯った大阪の街が怖さを物語る。



【責任を負うという事】

▼自由に生きる事や、要求を言う事、やりたいことをする権利は誰にでも平等にあります。ただし、そこには責任というものも存在します。自分で責任を取らなければ家族や保護者にその責任はいく事になるでしょう。のびのびと、自由に楽しく過ごさせてあげたい、そのことについては異論がないのですが、間違えば放任、放置に繋がりがかねません。自由というのはそれほど難しいと思うのです。欲しいというからやっただけ、この子が願っているから叶えて上げる、それは本当に利用者さんの将来に良い事なのでしょうか？自分が欲しいと言えば、全て周りがやってくれるという間違った自由意識が出来あがると思うのです。仮に保護者が亡くなられた時、この責任はいったいどこに行くのでしょうか。自由と責任は表裏一体の関係であることをご家庭、事業所の両方が日常生活の中できちんと伝えていく事が利用者の将来には大事だと思います。

サービス管理責任者

坂井達雄

予備のマスクについて

各ご家庭でマスクを準備して頂いていますが、予備のマスクを忘れてしまう利用者様が多くなってきました。マスクが汚れてしまったりゴムの部分が切れてしまったり、落としてしまったりする事がありますので予備のマスクは必ずご準備くださいます様再度、お願い致します。

※事業所でのマスクの準備はございません。また、全国的な感染拡大の状態を鑑み、マスクの利用については更に徹底していきます。事業所内でのマスクの着用が難しいと判断出来るときは、事業所の利用を中止して頂く場合がありますので何卒ご協力お願いします。



～お願い～

先月お知らせした通り、現在週末には歯磨きコップ等のお持ち帰りを実施しています。

歯ブラシコップ入れの袋を各自必ず準備くださいますようお願い致します。

※事業所での袋の準備はございません。

<寄付、物品寄贈の皆様>

石井 實 様 大野 洋子 様 (順不同) ありがとうございました。

